

## 事後評価シート

主管課・室長：環境教育推進室長

施 策 名	- 2 環境教育・環境学習の推進
施 策 の 概 要	<p>各主体が環境に対する関心を持って共通の理解を深めることにより、行動に環境配慮を織り込んでいくことが不可欠であり、すべての年齢層を対象として環境教育・環境学習を推進する。</p> <p><u>人材の育成</u> 地域における自主的、自発的な活動を支える人材の育成・活用を図るもの。</p> <p><u>プログラムの整備</u> 段階的・体系的なプログラムの整備や先進的なプログラムの開発、地域の実情に応じたプログラム整備の支援を図るもの。</p> <p><u>情報の提供</u> 環境に関する情報を必要なときに必要な形で入手できる情報基盤の整備を図るもの。</p> <p><u>場や機会の拡大</u> こどもエコクラブ事業の実施や地域における環境学習の拠点となる施設整備等により、全国的及び広域的観点からの学習機会を提供するもの。</p> <p><u>各主体の取組の支援、連携の強化</u> 行政、事業者、NGO等各主体の環境教育・環境学習に関する取組の支援や連携の強化を図るもの。</p> <p><u>国際交流・協力</u> 諸外国の環境教育・環境学習に関する先進的取組事例を学ぶことなどにより、国際的な交流や協力を推進するもの。</p>
目 標 及 指 標 (参考 指標)	<p>国民、事業者、民間団体など各主体の環境への関心や理解を深め、環境に配慮した行動を促進する。</p> <p><u>「人材の育成」の下位目標</u> 環境カウンセラー登録者総数を平成15年度末までに5,500名とする。</p> <p><u>「プログラムの整備」の下位目標</u> 環境学習支援事業により、平成15年度までに、廃棄物、水質、大気、都市環境、総合的プログラムの各分野の環境学習のプログラムを整備する。</p> <p><u>「情報の提供」の下位目標</u> 都道府県・政令指定都市に対して、環境省の施策や全国の地方公共団体が行う施策について、情報を提供する。</p> <p><u>「場や機会の拡大」の下位目標</u> こどもエコクラブ数を平成17年度末までに24,000クラブとする。</p> <p><u>「各主体の取組の支援、連携の強化」の下位目標</u> 地球環境基金による民間団体が行う環境保全活動の支援を行う。また、地方公共団体において、各主体の連携の下、モデル事業を実施する。</p> <p><u>「国際交流・協力」の下位目標</u></p>

	<p>アジア太平洋地域諸国で環境保全活動を行っている子どもたちの交流の場の創出と連携の促進を行う。</p>
<p>目標の達成状況</p>	<p>平成13年度の各施策の実施を通して、各事務事業の達成目標については、概ね達成の方向にある。</p> <p><u>「人材の育成」に係る目標の達成状況</u> 平成13年度末の環境カウンセラー登録者数は2,966名となっており、前年より416名増加した。また、これ以外にも、シルバー層を地域における環境活動の担い手として育成するための仕組みやモデルカリキュラムを検討した。</p> <p><u>「プログラムの整備」に係る目標の達成状況</u> 環境学習支援事業により、平成13年度までに、廃棄物、水質、大気の各分野の環境学習プログラムを収集・整理した。</p> <p><u>「情報の提供」に係る目標の達成状況</u> 都道府県・政令指定都市に対して、環境省の施策や全国の地方公共団体が行う施策について、情報を提供した。また、環境情報ホームページ「環境らしんばん」を開設した。</p> <p><u>「場や機会の拡大」に係る目標の達成状況</u> 平成13年度末のこどもエコクラブ登録数は4,160クラブ、75,244名に達しており、前年とほぼ同程度である。また、地方公共団体が行う環境学習拠点施設の新設や改修事業に対する補助事業を創設した。</p> <p><u>「各主体の取組の支援、連携の強化」に係る目標の達成状況</u> 地球環境基金によって、平成13年度223団体、総額7億9千万円の助成を行った。また、体験的学習のモデル事業を12～13年度に12地域を対象として行った。</p> <p><u>「国際交流・協力」に係る目標の達成状況</u> 平成11～13年度にこどもエコクラブアジア太平洋会議を実施し、約1,900人の参加を得た。</p>
<p>評価</p>	<p>平成13年度の各施策の実施を通して、環境教育・環境学習の推進に必要な人材やプログラム、情報提供の基盤は整備されつつあり、国の施策は一定の成果を上げていると言える。</p> <p><u>「人材の育成」に係る評価</u> カウンセラーを増やすために、パンフレットの作成・配布等の各種の広報活動等の施策が効果的だった。</p> <p><u>「プログラムの整備」に係る評価</u> 環境学習プログラムについては、CD-ROMで全国の地方公共団体のほか、全国の小中高等学校へ配布され、プログラムの普及・浸透が図られた。</p> <p><u>「情報の提供」に係る評価</u> 全国担当者会議や各種報告書、パンフレット等の送付を通じて、環境省の施策や全国の地方公共団体が行う施策について、全国の都道府県・政令指定都市の担当者に対して情報の提供が図られた。 また、「環境らしんばん」の開設により、NPOや環境イベント等の情報提供が図られた。</p> <p><u>「場や機会の拡大」に係る評価</u></p>

	<p>こどもエコクラブの結成を促進するため、パンフレットの作成・配布等の各種の広報活動等の施策が効果的に実施された。</p> <p><u>「各主体の取組の支援、連携の強化」に係る評価</u></p> <p>地球環境基金による助成を通して環境NPO等民間団体による環境保全活動が促進され、自主的環境保全活動の浸透とノウハウの蓄積が図られた。</p> <p>また、体験的学習モデル事業により当該地域における環境教育に係る取組が促進されるとともに、その成果を全国の地方公共団体へ配布することで、他地域への普及が図られた。</p> <p><u>「国際交流・協力」に係る評価</u></p> <p>こどもエコクラブアジア太平洋会議は成功裡に終了し、アジア太平洋地域諸国で環境保全活動を行っている子どもたちの交流の場の創出と連携の促進という目的は達成された。</p>
<p>今 後 の 課 題</p>	<p>環境教育・環境学習をさらに推進するため、環境に関心を有する民間団体や事業者に対しより効果的・効率的に広報普及活動を行うことで環境カウンセラーを増やしていくとともに、インターネット等を活用した教育関係者や環境NPO等に対する環境学習プログラムや環境学習事例の提供などを行い知見を共有していく必要がある。</p> <p>国民、民間団体、事業者等あらゆる主体の環境保全活動の活性化に向けて根本的な課題を解決するとともに総合的な促進方策を展開するため、現在中央環境審議会に専門委員会を設けて検討を進めていることから、この委員会における議論の中で、地球環境基金の助成対象・助成目的の明確化、重点化等環境保全活動の活性化に向けた具体的施策を検討する必要がある。</p>
<p>政策効果 把握の 手法及び 関連資料</p>	<p>普及・啓発の効果把握については、適切な指標がないのが実状であるが、次の事項を目安として把握している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カウンセラー登録者数</li> <li>・こどもエコクラブ数</li> <li>・地球環境基金の助成件数</li> </ul>
<p>添付資料</p>	<p>なし</p>

## 事務事業評価シート

施策名	- 2 環境教育・環境学習の推進	
事務事業名	効果 及び 評価	主な関連予算事項、税制等
ア．人材の育成	パンフレットの作成・配布等の各種の広報活動等が効果的に行われ、環境カウンセラーの増加につながった。	・環境カウンセラー事業 (13年度予算額：23百万円)
イ．プログラムの整備	環境学習支援事業において作成されたCD-ROMは、全国の自治体や学校に配布され全国の学校からの問い合わせが多数あるなど、教育関係者のニーズを満たし環境教育の推進に効果があり、また体系的なプログラムも整備された。	・環境学習支援事業 (13年度予算額：52百万円)
ウ．情報の提供	地球環境パートナーシッププラザに開設した環境情報ホームページ「環境らしんばん」はアクセス数も多く、各主体の主体的な環境学習の推進に役立っている。	・地球環境パートナーシッププラザ運営費 (13年度予算額：121百万円)
エ．場や機会の拡大	こどもエコクラブ事業は、体験を通じて自ら考える等の過程により、子どもたちの高い環境保全意識や行動力を醸成することに効果を発揮した。また、こどもエコクラブを増加させるために、パンフレットの作成・配布等各種の広報活動も効果的に行われた。	・こどもエコクラブ事業費 (13年度予算額：110百万円)

<p>オ. 各主体の取組の支援、連携の強化</p>	<p>環境保全活動に携わる環境NGOからの助成要望件数は増加しており、地球環境基金による支援は今後とも必要である</p> <p>また、体験学習モデル事業は対象地域における環境教育の進展、ノウハウの蓄積といった効果をもたらしたほか、その成果を配布することにより他地域への普及も図られた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球環境基金関係経費（13年度予算額：1,327百万円）</li> <li>・体験的環境学習推進事業（13年度予算額：59百万円）</li> </ul>
<p>カ. 国際交流・協力</p>	<p>「こどもエコクラブアジア太平洋会」議の開催により、アジア太平洋地域の子どもたちの交流の場の創出等一定の成果をあげ、所期の目的は達成された。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アジア太平洋エコクラブ推進事業（13年度予算額：16百万円）</li> </ul>